

## 国内自転車生産・輸出入状況（2019年1～6月）

### 1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せて我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

2019年1～6月期の生産状況は、総生産台数が前年同期を下回ったものの総生産金額は前年同期を上回った。一方、2019年1～6月期の輸入状況については、前年同期に比べ総輸入台数、総輸入金額ともに僅かに減少し、総輸入台数は過去15年間で最低となった。これらの結果、生産台数に輸入台数を加えた2019年1～6月の国内向け数量も過去15年間で最低となっている。

### 2. 我が国の自転車生産

#### 2-1 2019年1～6月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、2019年1～6月の我が国の完成自転車生産台数は452,231台、完成自転車生産金額は292億4,456万6千円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は2.5%減少し、総生産金額は1.9%増加した。また2019年1～6月の完成自転車生産平均単価は64,667円となっており、前年同期の61,910円から4.5%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 2019年1～6月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(千円)	平均単価(円)
2019年1～6月	452,231	29,244,566	64,667
2018年1～6月	463,613	28,702,260	61,910
変化	-11,382	542,306	2,757
変化%	-2.5%	1.9%	4.5%

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2019年1～6月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。

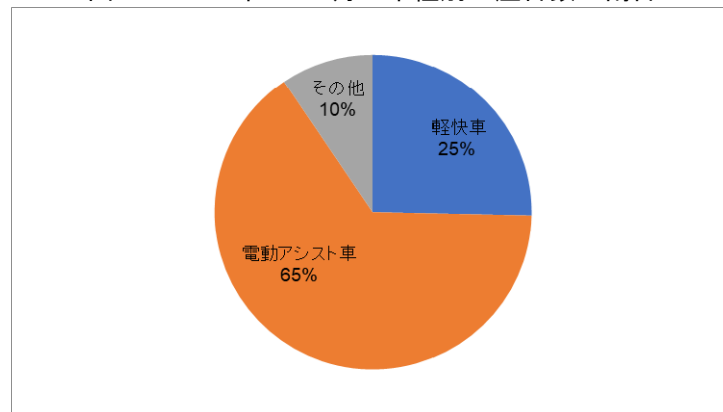
表2 車種別生産状況 2019年1～6月と2018年1～6月との比較

1～6月 車種	2019年		2018年		変化			
	台数	金額 (千円)	台数	金額 (千円)	台数	%	金額 (千円)	%
軽快車	114,615	3,019,040	118,451	3,099,060	-3,836	-3.2	-80,020	-2.6
電動アシスト車	294,780	25,326,127	305,517	24,712,237	-10,737	-3.5	613,890	2.5
その他	42,836	899,399	39,645	890,963	3,191	8.0	8,436	0.9
計	452,231	29,244,566	463,613	28,702,260	-11,382	-2.5	542,306	1.9

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に2019年1～6月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が65%を占め、次いで「軽快車」が25%を占めている。

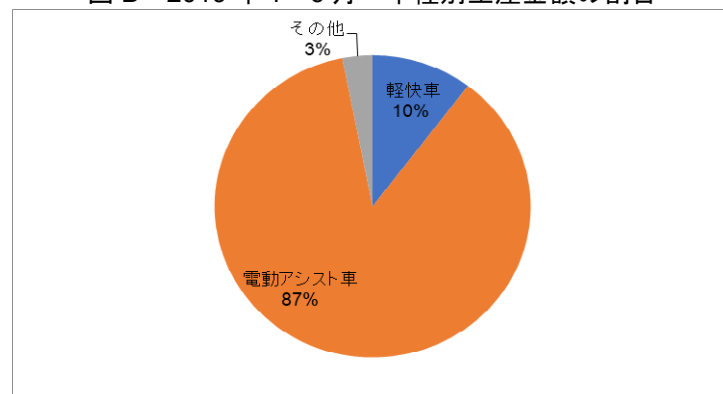
図A 2019年1～6月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に2019年1～6月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が87%を占めている。

図B 2019年1～6月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、2019年1～6月と2018年1～6月とを比較した表3を示す。「軽快車」と「電動アシスト車」が上昇している一方で、「その他」は下落している。

表3 車種別生産平均単価 2019年1～6月と2018年1～6月との比較

車種	2019年1～6月 生産平均単価(円)	2018年1～6月 生産平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	26,341	26,163	177	0.7
電動アシスト車	85,915	80,887	5,029	6.2
その他	20,996	22,474	-1,477	-6.6
計	64,667	61,910	2,757	4.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。生産台数が対前年同期比減少している月が多い一方で、生産金額は対前年同期比増加している月が多い。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 2019年と2018年との比較

	2019年			2018年			生産台数 の変化 (台)	生産金額 の変化 (千円)	平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)			
1月	45,893	4,149,189	90,410	46,507	3,774,633	81,163	-614	374,556	9,247
2月	52,707	4,741,124	89,952	54,734	4,613,710	84,293	-2,027	127,414	5,659
3月	59,872	4,968,034	82,978	60,222	4,722,509	78,418	-350	245,525	4,559
4月	51,496	4,234,450	82,229	48,918	3,725,556	76,159	2,578	508,894	6,070
5月	46,439	4,024,551	86,663	48,452	4,019,285	82,954	-2,013	5,266	3,709
6月	38,373	3,208,779	83,621	46,684	3,856,544	82,610	-8,311	-647,765	1,011
1～6月	294,780	25,326,127	85,915	305,517	24,712,237	80,887	-10,737	613,890	5,029

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

## 2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

2019年1～6月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況  
2019年1～6月と2018年1～6月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			6月末在庫 (台)
	台数	金額(千円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(千円)		
2019.1～6 軽快車	114,615	3,019,040	314,439	346,009	5,823,768	111,631	28,472
2018.1～6 軽快車	118,451	3,099,060	310,002	330,584	5,765,472	129,673	31,195
変化 %	-3.2	-2.6	1.4	4.7	1.0	-13.9	-8.7
2019.1～6 電動アシスト車	294,780	25,326,127	230,846	363,139	30,576,247	176,561	54,399
2018.1～6 電動アシスト車	305,517	24,712,237	260,184	356,642	29,085,461	193,328	64,199
変化 %	-3.5	2.5	-11.3	1.8	5.1	-8.7	-15.3
2019.1～6 その他	42,836	899,399	158,089	186,696	3,681,826	10,541	53,450
2018.1～6 その他	39,645	890,963	182,167	176,669	3,957,588	41,452	42,047
変化 %	8.0	0.9	-13.2	5.7	-7.0	-74.6	27.1
2019.1～6 全車種計	452,231	29,244,566	703,374	895,844	40,081,841	298,733	136,321
2018.1～6 全車種計	463,613	28,702,260	752,353	863,895	38,808,521	364,453	137,441
変化 %	-2.5	1.9	-6.5	3.7	3.3	-18.0	-0.8

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は改定値）、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、2019年1～6月の全車種の「受入」台数は2018年1～6月の「受入」台数に比べ6.5%減少した。

次に「出荷・販売」台数についてみると、2019年1～6月の全車種の「出荷・販売」台数は2018年1～6月のそれに比べ3.7%増加した。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は3.3%増加した。「軽快車」と「電動アシスト車」が増加した一方で、「その他」は減少している。

2019年1～6月の全車種の「出荷・その他」台数は、2018年1～6月のそれに比べ18.0%減少した。すべての車種で減少が示されている。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、2019年6月の全車種の「月末在庫」台数は136,321台で、前年同月と比べ0.8%減少した。

### 2-3 1～6月の生産状況の過去15年間の推移

表6に2005年から2019年まで過去15年間の毎年1～6月の我が国の自転車生産、出荷及び6月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～6月の自転車生産・出荷  
及び6月末在庫の過去15年間の推移

1～6月	生産			出荷			6月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	
2019	452,231	29,244,566	64,667	895,844	40,081,841	44,742	136,321
2018	463,613	28,702,260	61,910	863,895	38,808,521	44,923	137,441
2017	455,431	27,950,895	61,372	913,126	37,129,654	40,662	125,060
2016	497,354	28,638	57,581	910,085	33,163	36,439	121,504
2015	460,063	23,570	51,232	870,255	29,179	33,529	116,605
2014	507,928	24,927	49,076	996,867	30,429	30,525	116,260
2013	501,245	21,724	43,340	1,036,191	28,951	27,940	192,663
2012	572,870	23,413	40,870	1,518,578	33,996	22,387	212,882
2011	573,193	22,576	39,386	1,764,506	37,151	21,055	171,886
2010	571,753	20,103	35,160	1,720,957	32,846	19,086	210,186
2009	554,590	17,143	30,911	1,730,486	30,985	17,905	190,256
2008	582,440	14,409	24,739	1,942,549	29,031	14,945	191,694
2007	614,441	13,200	21,483	2,060,732	26,659	12,937	209,947
2006	755,461	14,282	18,905	2,281,242	27,158	11,905	232,646
2005	1,112,587	17,621	15,838	2,901,513	32,278	11,125	299,657

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年以前の数値は改定値）、

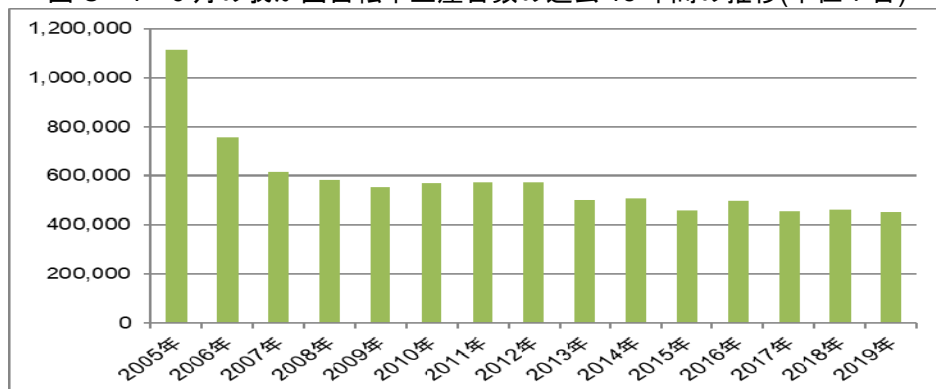
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

\*2016年以前は百万円単位、2017年以降は千円単位

2019年1～6月の「生産台数」は、過去15年間で最少となっている。一方、「生産金額」は過去15年間で最高となっている。これらの事から「生産平均単価」は過去15年間で最高である。また2019年1～6月の「出荷台数」は過去15年間で13番目、「出荷金額」は過去15年間で最高であった。「出荷平均単価」は過去15年間で2番目となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が15年間一貫して高くなっている。「6月末在庫台数」は136,321台で、過去15年間で11番目となっている。

表6を基に2005年から2019年までの過去15年間の毎年1～6月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は低迷している。

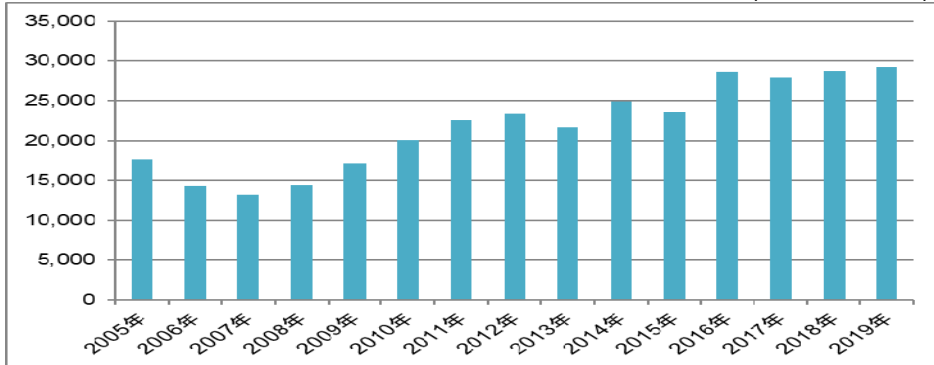
図C 1～6月の我が国自転車生産台数の過去15年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に2005年から2019年までの過去15年間の毎年1～6月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。

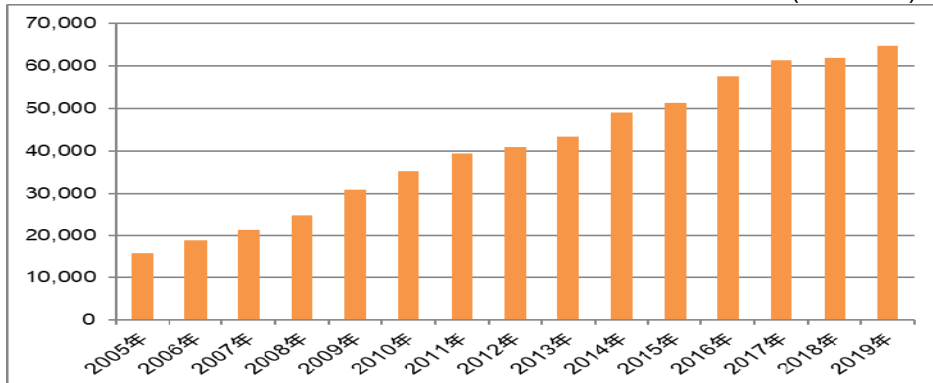
図 D 1～6月の我が国自転車生産金額の過去15年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に2005年から2019年までの過去15年間の毎年1～6月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。生産平均単価は上昇傾向にある。

図 E 1～6月の我が国自転車生産平均単価の過去15年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去15年間の推移を表7に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去15年間の推移（単位：台）

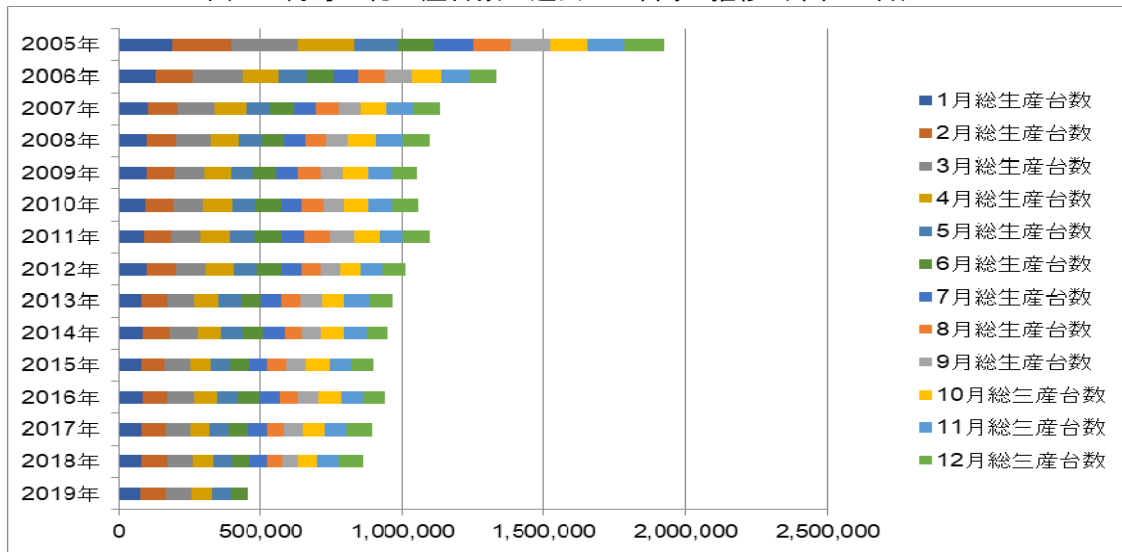
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
2019	76,039	91,061	89,164	74,467	66,246	55,254
2018	78,463	93,312	86,051	76,370	65,715	63,702
2017	79,215	86,276	82,628	74,710	63,706	68,896
2016	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
2015	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
2014	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
2013	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
2012	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
2011	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
2010	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
2009	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
2008	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
2007	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
2006	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522
2005	186,677	207,574	239,561	197,996	151,547	129,232

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
2019							452,231
2018	58,056	53,849	59,194	66,085	77,433	83,025	861,255
2017	66,260	60,279	67,975	74,071	81,506	85,328	890,850
2016	71,533	64,278	71,472	82,749	76,539	75,100	939,025
2015	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
2014	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
2013	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
2012	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
2011	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
2010	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
2009	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
2008	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
2007	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
2006	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512
2005	138,579	130,081	138,979	135,527	132,069	138,614	1,926,436

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
2018年以前の数値は改定値

表7の月毎の総生産台数の過去15年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図 F 月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に 1～6 月の車種別の生産台数の過去 15 年間の推移を表 8 に示す。

表 8 1～6 月の車種別生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)

年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
2019	114,615	294,780	42,836	452,231
2018	118,451	305,517	39,645	463,613
2017	125,471	287,461	42,499	455,431
2016	156,072	287,455	53,827	497,354
2015	161,228	242,150	56,685	460,063
2014	183,076	258,625	66,227	507,928
2013	203,896	227,086	70,263	501,245
2012	275,061	227,108	70,701	572,870
2011	285,584	216,638	70,971	573,193
2010	299,341	186,858	85,554	571,753
2009	303,884	154,006	96,700	554,590
2008	357,363	138,377	86,700	582,440
2007	389,936	131,511	92,994	614,441
2006	517,128	123,999	114,334	755,461
2005	788,340	113,236	211,011	1,112,587

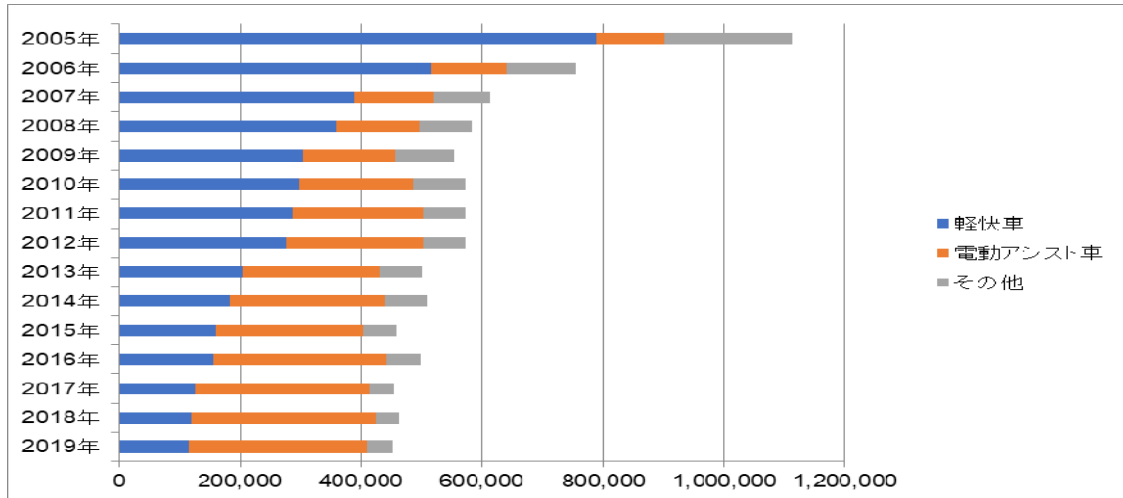
2011 年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。2005 年から 2010 年までの「その他」の数値は、これら 4 区分の合計数値。

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 8 に示した 1～6 月の車種別の生産台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 G である。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している模様が示されている。



図 G 1～6月の車種別生産台数の過去15年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、輸入電動アシスト車はこの中に含まれているものと思われる。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

表9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-1 2019年1~6月の輸入状況の概要

表10は、2019年1~6月の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は3,471,718台となり前年同期から0.2%減少した。一方、総CIF金額は389億7,556万2千円となり前年同期比3.2%減少した。これらの結果、平均CIF単価は11,227円となり前年同期比3.0%下落している。

尚、この間のドル円為替レートを見ると、2019年1~6月の平均レートはUS1\$=JPY110.28であったのに対し、2018年1~6月の平均レートはUS1\$=JPY108.93(ともに税関長公示レートを参考にした)であった。

表10 2019年1~6月の我が国の自転車輸入 2018年1~6月との比較  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
2019年1~6月	3,471,718	38,975,562	11,227
2018年1~6月	3,479,162	40,268,664	11,574
変化	-7,444	-1,293,102	-348
変化%	-0.2	-3.2	-3.0

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

参考まで2019年1~6月の我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。台数・金額ともに前年同期比で増加している。

表10附表 参考 2019年1~6月の我が国の  
「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入  
2018年1~6月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
2019年1~6月	167,456	6,167,314	36,829
2018年1~6月	146,860	5,733,084	39,038
変化	20,596	434,230	-2,208
変化%	14.0	7.6	-5.7

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-2 2019年1~6月の車種別輸入状況

表11は2019年1~6月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 1 1 2019 年 1～6 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	82,267	1,442,874	17,539
8712.00211 ミニサイクル	147,540	1,910,156	12,947
8712.00218 幼児車	212,491	1,552,536	7,306
8712.00219 子供車	809,181	7,417,366	9,167
8712.00291 軽快車	947,003	8,988,844	9,492
8712.00299 その他	1,273,236	17,663,786	13,873
計	3,471,718	38,975,562	11,227

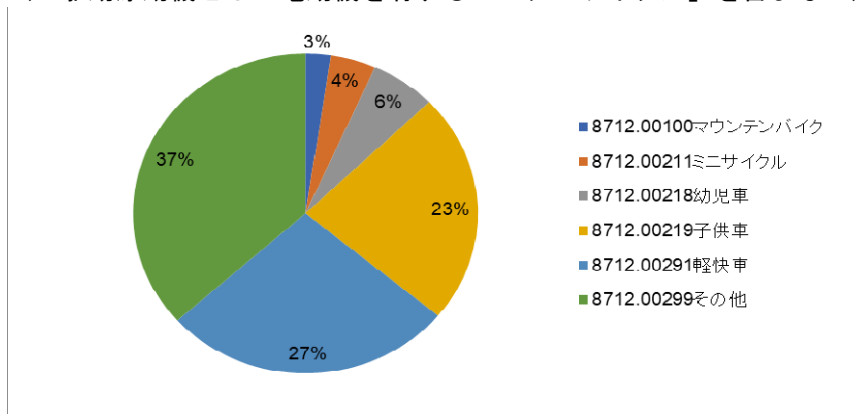
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	167,456	6,167,314	36,829
------------------------------------	---------	-----------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 17,539 円と「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に次いで台数が多くなっている。平均 CIF 単価は 9,492 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多いほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 13,873 円である。

表 1 1 を基に、2019 年 1～6 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」が 37%、「軽快車」が 27%を占めている。

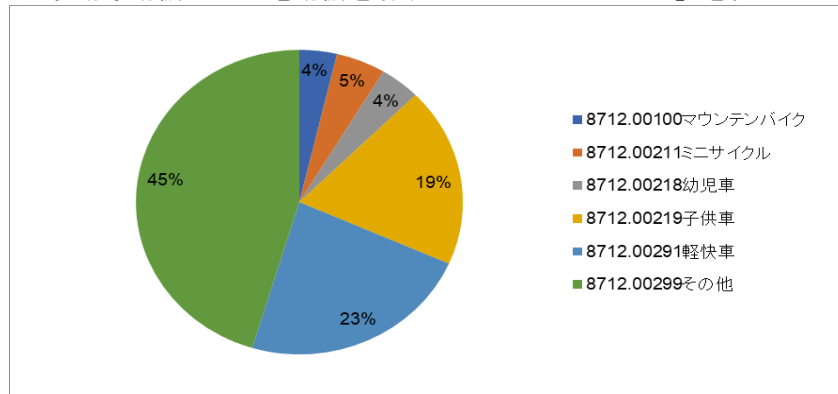
図 H 2019 年 1～6 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、2019 年 1～6 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 45%、「軽快車」が 23%を占めている。

図1 2019年1～6月の我が国自転車輸入 車種別CIF金額の割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12は2019年1～6月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。「ミニサイクル」「子供車」は台数及び金額ともに増加している一方で、「幼児車」「軽快車」は、台数及び金額ともに減少していることが示されている。

表12 我が国の車種別自転車輸入 2019年1～6月と2018年1～6月との比較

1～6月 車種	2019年		2018年		変化%	
	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額
8712.00100 マウンテンバイク	82,267	1,442,874	79,956	1,506,462	2.9%	-4.2%
8712.00211 ミニサイクル	147,540	1,910,156	133,224	1,597,100	10.7%	19.6%
8712.00218 幼児車	212,491	1,552,536	237,218	1,761,004	-10.4%	-11.8%
8712.00219 子供車	809,181	7,417,366	782,195	7,248,623	3.5%	2.3%
8712.00291 軽快車	947,003	8,988,844	983,502	9,563,406	-3.7%	-6.0%
8712.00299 その他	1,273,236	17,663,786	1,263,067	18,592,069	0.8%	-5.0%
計	3,471,718	38,975,562	3,479,162	40,268,664	-0.2%	-3.2%
平均単価(円)		11,227		11,574		-3.0%

8711.60000 駆動原動機として 電動機を有する モーターサイクル	167,456	6,167,314	146,860	5,733,084	14.0%	7.6%
平均単価(円)		36,829		39,038		-5.7%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-3 1～6月の輸入状況の過去15年間の推移

表13は毎年1～6月の我が国の自転車輸入の過去15年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～6 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

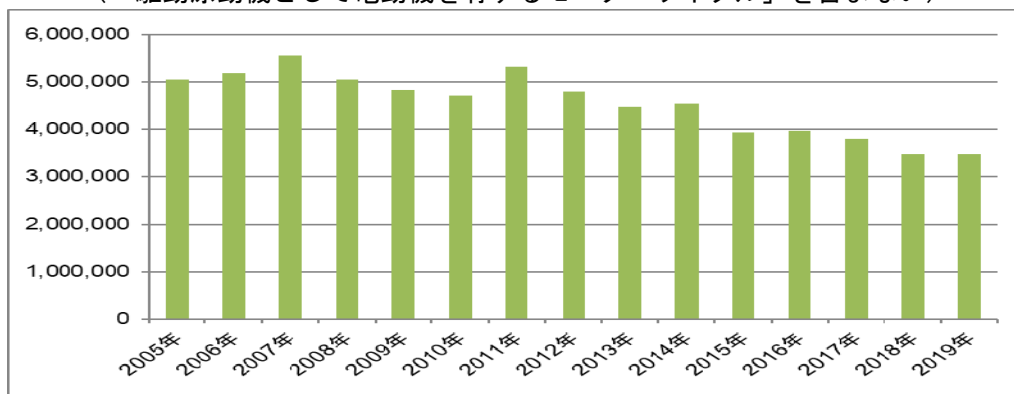
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
2019	3,471,718	38,975,562	11,227
2018	3,479,162	40,268,664	11,574
2017	3,790,851	40,642,307	10,721
2016	3,973,100	45,194,140	11,375
2015	3,940,565	50,889,066	12,914
2014	4,537,063	47,623,581	10,497
2013	4,471,862	43,332,516	9,690
2012	4,798,280	41,064,255	8,558
2011	5,331,948	41,315,173	7,749
2010	4,723,113	36,870,424	7,806
2009	4,821,939	41,444,013	8,595
2008	5,067,152	42,007,396	8,290
2007	5,564,067	43,338,309	7,789
2006	5,176,368	37,205,484	7,188
2005	5,066,553	31,690,477	6,255

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

2019 年 1～6 月の総輸入台数は、過去 15 年間で最低である。一方、2019 年 1～6 月の総 CIF 金額は過去 15 年間で 12 番目である。平均 CIF 単価は 11,227 円で、過去 15 年間で 4 番目となっている。

表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

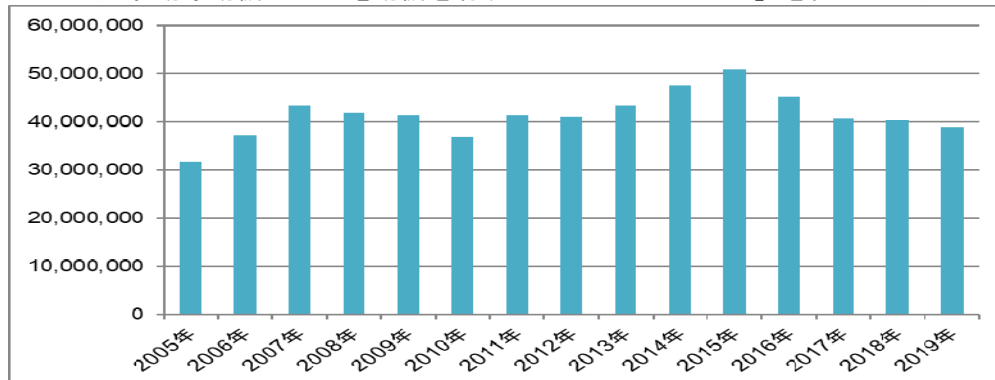
図 J 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K である。

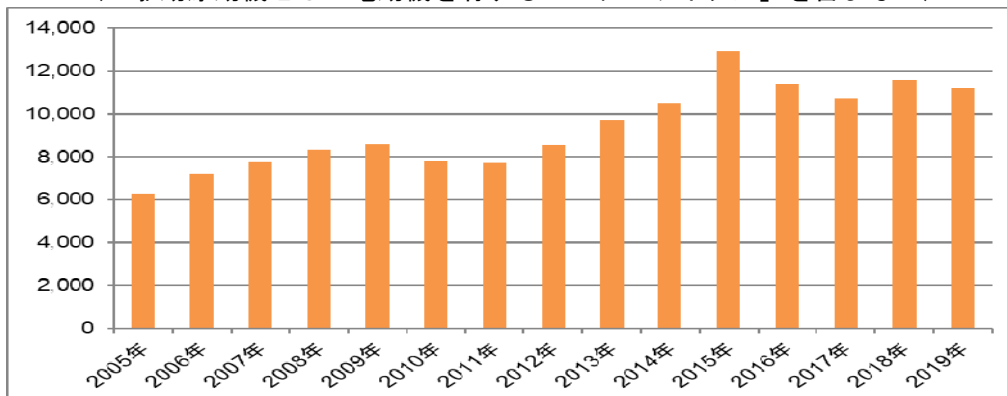
図 K 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に 2005 年から 2019 年までの過去 15 年間の毎年 1～6 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～6 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」  
を含まない）の過去 15 年間の推移（単位：台）

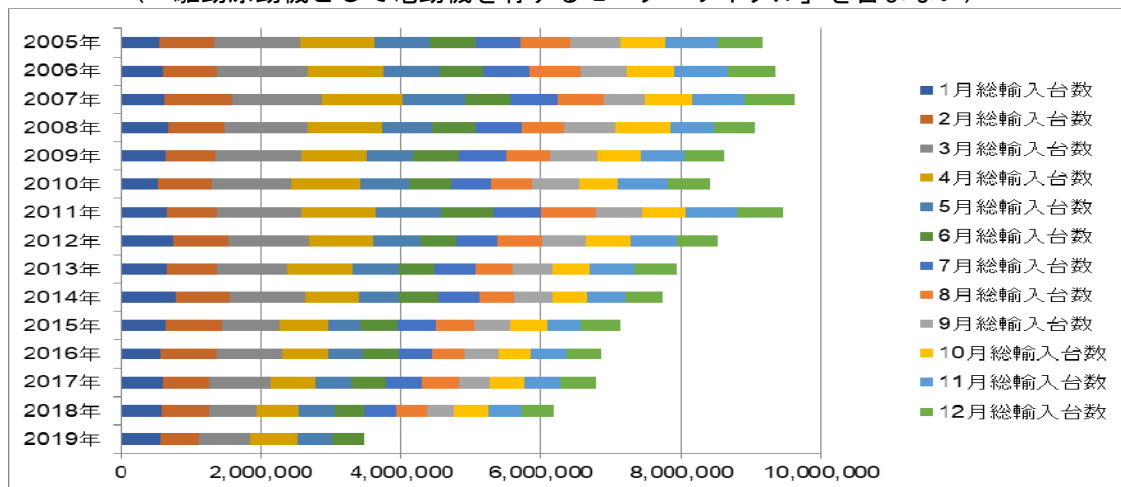
年	1月総輸入 台数	2月総輸入 台数	3月総輸入 台数	4月総輸入 台数	5月総輸入 台数	6月総輸入 台数
2019	561,860	557,809	720,388	674,931	511,046	445,684
2018	584,582	672,121	684,815	588,526	515,094	434,024
2017	608,232	654,624	889,358	634,082	499,298	505,257
2016	559,379	823,009	916,762	673,000	493,419	507,531
2015	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
2014	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
2013	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
2012	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
2011	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
2010	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
2009	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
2008	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
2007	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
2006	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
2005	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039

年	7月総輸 入台数	8月総輸 入台数	9月総輸 入台数	10月総輸 入台数	11月総輸 入台数	12月総輸 入台数	総輸入台数
2019							3,471,718
2018	452,637	430,168	393,334	481,847	479,022	465,912	6,182,082
2017	511,094	522,474	454,877	480,920	514,237	503,346	6,777,799
2016	460,740	464,093	509,475	438,628	518,622	484,729	6,849,387
2015	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
2014	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
2013	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
2012	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
2011	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
2010	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
2009	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
2008	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
2007	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
2006	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
2005	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 4 の月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 M である。

図 M 月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典: 財務省貿易統計、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

表 15 は、毎年 1~6 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 15 年間の推移について示したものである。

表 15 毎年 1~6 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

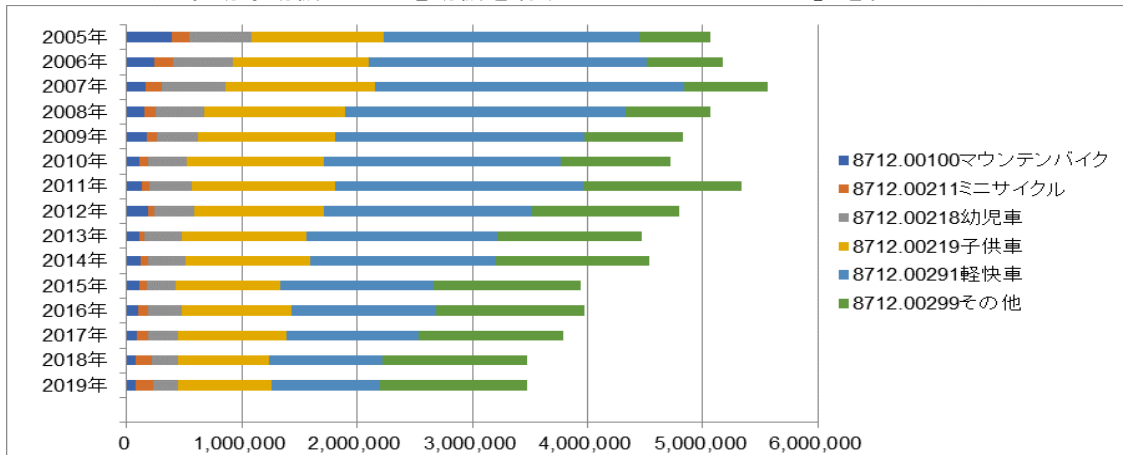
	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
2019	82,267	147,540	212,491	809,181	947,003	1,273,236	3,471,718
2018	79,956	133,224	237,218	782,195	983,502	1,263,067	3,479,162
2017	92,228	91,664	266,549	933,076	1,147,178	1,260,156	3,790,851
2016	94,690	87,748	299,749	949,274	1,254,391	1,287,248	3,973,100
2015	107,818	65,025	254,851	901,826	1,329,178	1,281,867	3,940,565
2014	115,796	73,373	320,422	1,079,838	1,613,470	1,334,164	4,537,063
2013	112,378	36,363	328,153	1,080,442	1,656,647	1,257,879	4,471,862
2012	190,955	53,801	340,845	1,125,604	1,808,960	1,278,115	4,798,280
2011	133,186	65,450	361,109	1,252,489	2,153,138	1,366,576	5,331,948
2010	112,694	72,310	337,421	1,186,829	2,055,075	958,784	4,723,113
2009	178,663	82,579	361,821	1,183,163	2,170,068	845,645	4,821,939
2008	153,604	96,776	422,657	1,217,508	2,438,420	738,187	5,067,152
2007	165,451	140,261	550,506	1,302,037	2,681,058	724,754	5,564,067
2006	236,521	162,182	527,333	1,179,149	2,412,514	658,669	5,176,368
2005	388,361	155,871	535,139	1,154,215	2,213,253	619,714	5,066,553

出典: 財務省貿易統計、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 N のようになる。



図 N 毎年 1～6 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

2019年1～6月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表16である。

表16 2019年1～6月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）

供給元	台数	輸入総台数に占める割合(%)	CIF金額(千円)	輸入総金額に占める割合(%)	平均CIF単価(円)
中華人民共和国	3,408,589	98.2	34,736,620	89.1	10,191
台湾	54,541	1.6	3,504,783	9.0	64,260
その他	8,588	0.2	734,159	1.9	85,487
計	3,471,718	100.0	38,975,562	100.0	11,227

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の98.2%、総CIF金額の89.1%を占めている。平均CIF単価は10,191円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の1.6%、総CIF金額の9.0%を占めている。平均CIF単価は64,260円である。これら2つの国・地域で総台数の99.8%、総CIF金額の98.1%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表17のようになっている。

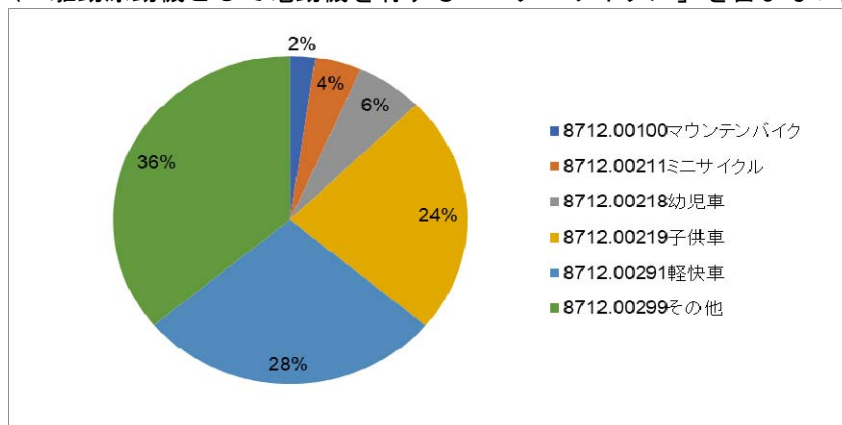
表 17 2019年1～6月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	78,049	1,226,263	15,711
8712.00211 ミニサイクル	144,648	1,728,245	11,948
8712.00218 幼児車	207,409	1,417,621	6,835
8712.00219 子供車	802,190	7,240,446	9,026
8712.00291 軽快車	946,419	8,965,156	9,473
8712.00299 その他	1,229,874	14,158,889	11,512
計	3,408,589	34,736,620	10,191

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 17 に示した 2019 年 1～6 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 O である。「その他」が 36% を占め、次いで「軽快車」が 28% を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図 H と似た状態が示されている。

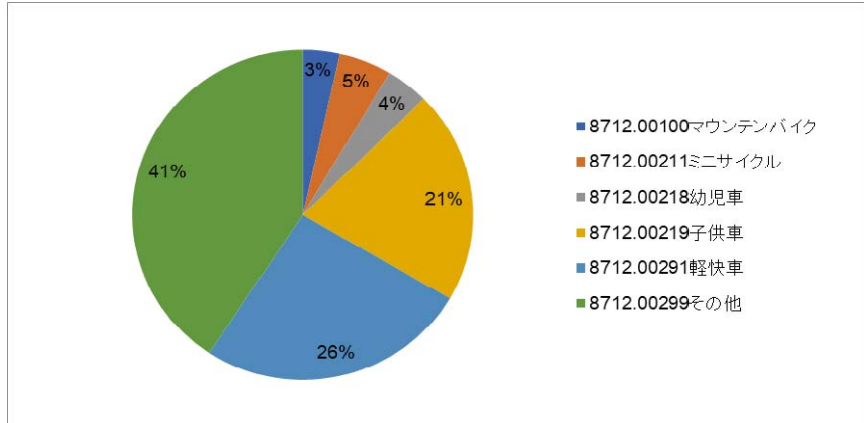
図 O 2019年1～6月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
車種別台数割合  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 17 に示した 2019 年 1～6 月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 P である。「その他」が 41% を占め、次いで「軽快車」が 26% を占めている。

図 P 2019年1～6月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
車種別 CIF 金額割合  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表18のようになっている。

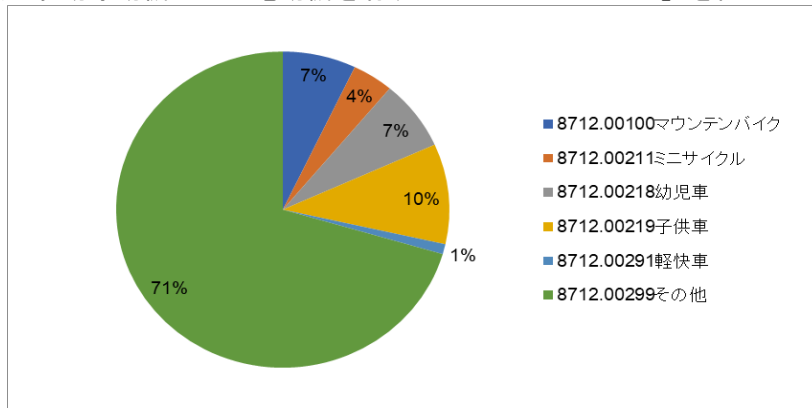
表 18 2019年1～6月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	3,880	193,579	49,891
8712.00211 ミニサイクル	2,172	124,677	57,402
8712.00218 幼児車	3,908	26,527	6,788
8712.00219 子供車	5,593	132,267	23,649
8712.00291 軽快車	559	20,529	36,725
8712.00299 その他	38,429	3,007,204	78,254
計	54,541	3,504,783	64,260

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した2019年1～6月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Qである。全体の輸入状況を表した図Hや「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図Oとは異なり、「その他」が71%と大きな割合を占め、次いで「マウンテンバイク」が7%を占めている。一方で、「軽快車」は僅か1%を占めるにすぎない状況となっている。

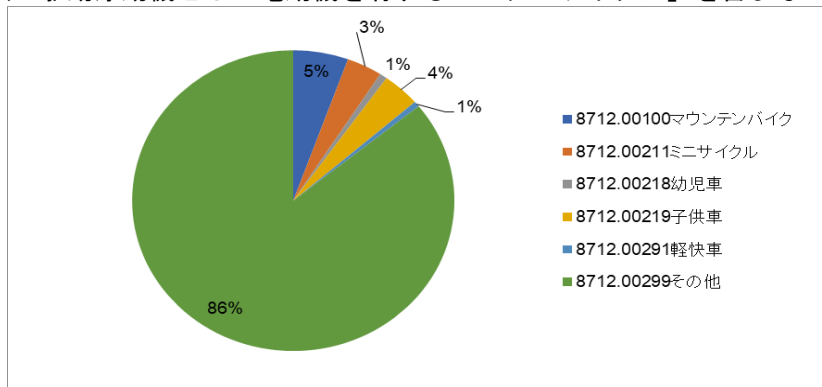
図 Q 2019年1～6月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表18に示した2019年1～6月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Rである。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が86%を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が5%を占め、「軽快車」は僅か1%である。

図 R 2019年1～6月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで、2019年1～6月の2018年1～6月と比較した、我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表19に示す。

表 19 参考 2019年1～6月の我が国の「駆動原動機として電動機を有する  
モーターサイクル」の輸入 主要供給元 2018年1～6月との比較

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合(%)	CIF金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合(%)	平均CIF 単価(円)
2019.1～6 中華人民共和国	165,359	98.7	5,764,949	93.5	34,863
2018.1～6 中華人民共和国	143,599	97.8	5,560,838	97.0	38,725
変化	21,760	1.0	204,111	-3.5	-3,862
2019.1～6 台湾	1,314	0.8	194,497	3.2	148,019
2018.1～6 台湾	3,048	2.1	100,114	1.7	32,846
変化	-1,734	-1.3	94,383	1.4	115,173
2019.1～6 その他	783	0.5	207,868	3.4	265,476
2018.1～6 その他	213	0.1	72,132	1.3	338,648
変化	570	0.3	135,736	2.1	-73,172
2019.1～6 計	167,456	100.0	6,167,314	100.0	36,829
2018.1～6 計	146,860	100.0	5,733,084	100.0	39,038
変化	20,596	0.0	434,230	0.0	-2,208

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

#### 4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年1～6月の「国内向け数量」について、過去15年間の推移を表20に示す。2019年1～6月期の国内向け数量は3,923,949台で、過去15年間で最低となった。また国内生産比率は11.5%であった。

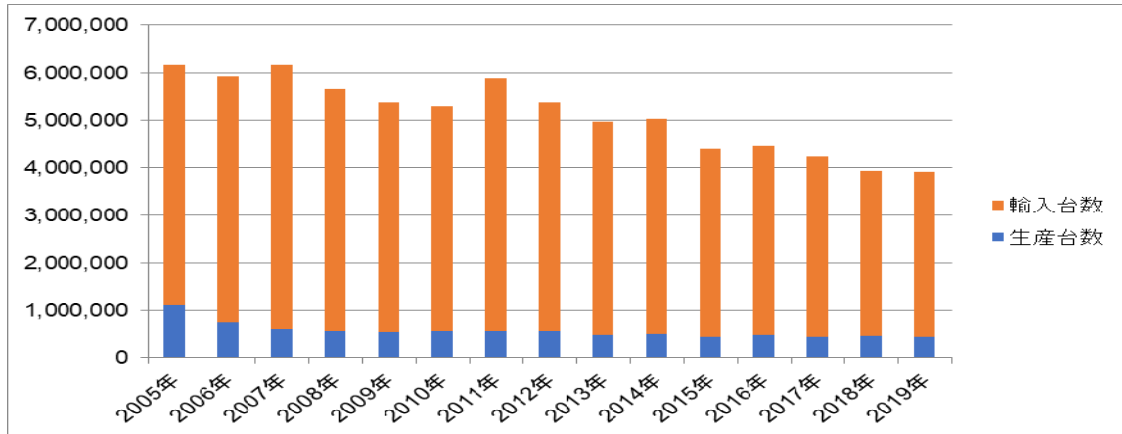
表 20 毎年1～6月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去15年間の推移  
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
2019	452,231	3,471,718	3,923,949	11.5
2018	463,613	3,479,162	3,942,775	11.8
2017	455,431	3,790,851	4,246,282	10.7
2016	497,354	3,973,100	4,470,454	11.1
2015	460,063	3,940,565	4,400,628	10.5
2014	507,928	4,537,063	5,044,991	10.1
2013	501,245	4,471,862	4,973,107	10.1
2012	572,870	4,798,280	5,371,150	10.7
2011	573,193	5,331,948	5,905,141	9.7
2010	571,753	4,723,113	5,294,866	10.8
2009	554,590	4,821,939	5,376,529	10.3
2008	582,440	5,067,152	5,649,592	10.3
2007	614,441	5,564,067	6,178,508	9.9
2006	755,461	5,176,368	5,931,829	12.7
2005	1,112,587	5,066,553	6,179,140	18.0

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年以前の数値は改定値）、  
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Sである。

図 S 毎年 1～6 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 15 年間の推移  
 (生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
 輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年以前の数値は改定値）、  
 財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

## 5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。2019年1～6月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表2-1に示す。平均FOB単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2-1 2019年1～6月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総FOB金額(千円)	平均FOB単価(円)
ミャンマー	315,226	449,592	1,426
ガーナ	303,628	486,477	1,602
カンボジア	210,642	435,245	2,066
アフガニスタン	175,192	275,119	1,570
タンザニア	103,003	180,005	1,748
イラク	98,374	188,207	1,913
ナイジェリア	77,947	139,727	1,793
UAE	72,684	128,185	1,764
フィリピン	55,783	99,831	1,790
トルコ	26,150	47,486	1,816
その他	100,116	223,753	2,235
計	1,538,745	2,653,627	1,725

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表2-2に2005年から2019年までの過去15年間の毎年1～6月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去15年間で6番目、総金額は過去15年間で3番目となっている。2019年1～6月の平均FOB単価は1,725円で、過去15年間でやはり3番目となっている。

表 2 2 毎年 1～6 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
2019	1,538,745	2,653,627	1,725
2018	1,534,641	2,536,824	1,653
2017	1,609,644	2,560,378	1,591
2016	1,624,697	2,920,967	1,798
2015	1,741,447	3,105,750	1,783
2014	1,598,330	2,385,563	1,493
2013	1,560,970	2,090,763	1,339
2012	1,472,001	1,919,884	1,304
2011	1,229,534	1,612,630	1,312
2010	1,183,762	1,585,455	1,339
2009	1,086,363	1,498,350	1,379
2008	1,154,173	1,923,095	1,666
2007	866,620	1,118,874	1,291
2006	643,714	698,402	1,085
2005	548,346	628,453	1,146

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上